



仁淀ブルーサイクリングイベント開催！

さかわ *Sakawa* 議会だより

75
2018.8.1

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents 目次



参加者におもてなし

通学路に防犯カメラを	一般質問	6
国道494号	視察報告	13
議会懇談会報告		14

一般会計 6月補正予算 202万円の 増額補正を可決

6月定例会は、6月8日から14日までの会期で開かれました。

報告1件の後、平成30年度の補正予算をはじめ、条例改定、契約締結、意見書など議案20件を審議し採決の結果、賛成全員及び賛成多数で19件可決、1件を否決しました。

平成30年6月補正予算

(単位：円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		202万	68億2,887万
特別会計	国民健康保険	△77万	17億4,811万
	介護保険	△508万	17億9,345万
	後期高齢者医療	49万	2億2,286万
	水道事業	△467万	3億6,175万

6月定例会で決まりました

計画策定

尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の策定

平成30年度から平成34年度までの5年間で、尾川・斗賀野地区の町道、橋梁及び飲用水供給施設を整備するにあたり、辺地に係る法律の規定により、総合整備計画を策定する。

物品購入契約締結

消防団ポンプ自動車の購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

2719万9600円

(契約の相手方)

株式会社 中村防災

サービス

工事請負契約締結

佐川町民テニスコート整備工事

(契約の方法)

一般競争入札

(契約金額)

1億427万7240円

(契約の相手方)

株式会社 上岡工務店

人事

佐川町教育委員会委員

田村 裕子 氏

佐川町中組130番地



最新型のポンプ自動車

佐川町内小中学校校務用パソコン購入

(契約の方法)

指名競争入札

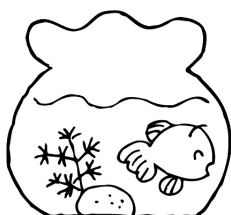
(契約金額)

1454万7600円

(契約の相手方)

四国情報管理センター

株式会社



ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

坂本議員 プール修繕費
235万2千円のうち、
壁、ロッカー、天井の修
繕の内容は。

教育次長 ロッカーはさ
び落とし、さび止め、塗
装、アクリル板張りの修
繕に21万6千円。天井の
漏水の修繕に21万6千
円。壁のクロス張替え
に21万6千円。その他の
緊急の修繕箇所30万
円。

下川議員 地方道路交付
金が平成30年度より交付
金の変更により減額とな
ったが、この減額率及び
今後の見通しは。
産業建設課長 町道、橋
梁、トンネルなど重要構
造物は引き続き60・5%
だが、それ以外は55%交
付となった。今後の見通
しは辺地債等で対処し実
施したい。

プール更衣室ロッカー
さびだらけ！



中村議員 町有林売却48
万円の収入について、ど
この町有林か。その単価
は。

産業建設課長 尾川の町
有林だ。単価はA材、B
材、C材の単価があり、
搬出材の材質で変わる。



木材搬出作業

その他の議案

松浦議員 総務費のペー
パーレス化のパソコン備
品購入費とその内容は。
総務課長 三役会出席者
5名のパソコン購入費
で、1台19万5百円。庁
内会議をペーパーレス化
にする前段として、本年
度三役会議に導入する。
パソコンはタブレット型
端末機を使用する。

消防ポンプ車購入契約

下川議員 消防団ポンプ
自動車が本年度黒岩分団
に配置される。今後の各
分団への見通しは。
総務課長 平成31年度は
佐川分団、平成32年度は
尾川分団、平成33年度は
加茂分団、平成34年度は
斗賀野分団、平成35年度
は佐川分団の計画で順次
更新していく。

町民テニスコート 工事請負契約

西森議員 なぜ、地元業
者を入れなかったのか。
また最低制限価格を今回
だけ百円の端数処理をし
なかったのか。そのため
4社が失格となり、町財
政に損失を与えている
が。



テニスコート工事開始

町長 建築の工事に関し
ては1億円未満の工事は
地元を優先し、指名競争
入札としている。この工
事は1億円を超える工事
のため一定の基準を設け
一般入札とした。最低制
限価格は85%で設定し、
入札したが問題はない。

松浦議員 最低制限価格
の端数処理問題は、法令
上問題はないが、大きな
手落ちであると思うがど
うか。最低制限価格の端
数処理について示し、公
表してはどうか。

反対討論

西森議員 一般競争入札
のメリットは、どの業者
でも参入でき、また価格
勝負が原則。地元業者は
1社も入れず、このメリ
ットは全く生かされてい
ない。しかも入札にあた
って、今回は最低制限価
格の端数処理をせず、4
業者を失格させている。
このような疑義があり、
後出しじゃんけんよう
な契約には賛成できな
い。



電子計算費

244万円

総合行政ネットワークの対応にかかる費用、市内ペーパーレス化対応パソコン購入費用。

地域づくり事業

100万円

黒岩いきいき応援隊が実施する「黒岩deクリスマス音楽会」への補助。



しまらない天窗！（佐小）

小学校管理費

184万円

佐川小1～3階の教室・廊下間の天井の修繕工事費用。

プール・サウナ及びテニスコート管理費

235万円

町民プールにかかる修繕費及び木質ベレットボイラー定期保守点検委託料。

各議員の意思表明

賛否表（平成30年6月定例会）

○：賛成

●：反対

－：議長

欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村純正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
同意案第2号 佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
平成30年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
平成30年度水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
佐川町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
字の区域及び名称の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
物品購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
物品購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発委第3号 佐川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発委第4号 日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－	○	○
発委第5号 義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発委第6号 「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発委第7号 特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発委第8号 全国一律の最低賃金制度の確立と最低賃金の大幅引き上げによる地域活性化そしてそれを可能にする中小企業支援策拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
発議第1号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める意見書	○	●	●	○	○	●	○	●	●	●	○	－	●	●

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

さかわぐるぐるバス 安全管理の予算枠必要

町長 予算編成時に協議



安全第一の運行を

ぐるぐるバスの運行経路となっている道路の修繕などの安全管理は、運転手さんや乗っている方の安全を確保する意味でも重要な取り組みだ。予算枠を別途設け、順次整備をしていく取り組みが必要だ。

堀見町長 安全第一で運行することが一番大切だ。流動的な緊急の対応ができていないというふうに反省している。柔軟な予算執行、修繕対応をしていきたい。来年度の予算編成時に、しっかりと協議して、進めていきたい。

小中学校における心肺蘇生教育 講習の実施状況は

教育長 年1、2回実施



AED研修中（佐川中学校）

本町の小中学校における、児童生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性、また、教職員へのAED講習の実施状況など具体的な取り組みの状況は。

川井教育長 年1回から2回、体育の授業で水泳が始まる前に、日本赤十字社高知県支部や高吾北消防署の職員を招き、AED講習を実施している。また、小学5、6年生と中学生を対象に、AEDを用いての胸骨圧迫、AEDの使い方などを学ぶ講習を実施している。

移動期日前投票 早急に取り組むべきだ

総務課長 投票区の増設など対応していく

昨年の選挙を終えて、町民の方から、選挙に行きたくてもいけない高齢者の方がいるという声が届いた。投票環境の向上に向けて、投票所への巡回バスの運行や移動期日前投票所の導入を早急に検討し取り組むべきだ。

麻田総務課長 来年4月に予定されている県議会議員選挙に向けて、投票区（投票所）の増設、日時を定めた期日前投票所の設置について、自治会との協議を踏まえたいうえで、対応していくように考えている。



投票しやすい環境を（庄田公民館）

不審者情報があり、保護者にとって不安が広がっている。子どもたちの安全を守ることは最も大切なことだ。全地区の通学路に防犯カメラを設置できないか。また設置には個人情報保護への配慮が必要だ。

全地区の通学路に 防犯カメラ設置を

教育長 関係機関と協議

坂本 玲子 議員



川井教育長 現在佐川小、斗賀野小の正門前に防犯カメラを設置している。今後、主要な通学路への防犯カメラの設置に関しては関係機関と協議していきたい。

また撮影された画像の閲覧とか情報提供にはガイドライン的なものを定めて個人情報を守りながら保護していくことは大事だと考えている。



防犯カメラが子どもを見守る（斗賀野小）

運動部活動の 適正化を

教育長 ガイドラインに沿って進める

高知県運動部活動ガイドラインが3月に出来た。部活動は教育活動の一環であり、子どもの成長に過度な負担をかけてはいけないし、教師の犠

牲の上に成り立つものであってもいけない。佐川町としてどう改善していくか。

川井教育長 県のガイドラインでは週2日の休養日、練習時間は平日2時間以内、外部指導者の積極的な活用などが示されている。佐川町だけでは難しいので、ガイドラインに沿うような方向で、関係機関と協議を進めていきたい。

民生委員の 負担軽減を

健康福祉課長 要求をしっかり聞いていく

民生委員の方々は地域の方々を守るため日夜頑張ってくれている。民生委員は負担が大きい。民生委員の仕事の内容を明確にし、要援護者の情報を適切に提供することが必要だ。

民生委員の意見をきちんと聞き、過度な負担をかけないようすべきだ。

田村健康福祉課長 民生委員の活動は以前と比較にならないほど増えている。昼夜を問わず一生懸命にかかわってくれていることも承知している。仕事を依頼する場合には、内容を明確に説明し、必要な情報提供をしていく。

また民生委員の要求もしっかり聞いて、安心して活動ができるようにしていく。

その他の質問
○佐川町での生活困窮者について



暑さに負けるな子どもたち！（佐川中学校）



橋元 陽一 議員

加茂地区の住民説明会では、施設の安全性、耐久性について不安の声があった。今後、町としてどうかかわるか。

和岡町民課長 住民の皆さんからは施設の必要性を理解した上で、地震への強度、埋め立て廃棄物

産廃施設 住民に不安が

町民課長 丁寧な説明必要

の安全性、埋め立て完了後の安全性への不安の質問があった。疑問に對しての丁寧な説明が必要だ。

堀見町長 しつかりと住民の皆さんの要望、声を聞いて県に對応をお願いする。

核兵器のない世界目指して 国に働きかけを

町長 現時点で検討していない

県内34市町村すべての首長が加盟している平和首長会議に、佐川町はいつ加盟したのか。

国内加盟都市会議へ参加してはどうか。
国連で採択された核兵器禁止条約の早期締結を政府に求める行動を起こしてほしい。

岡崎チーム佐川推進課長 2011年に加盟した。

堀見町長 私は公務等があり、これまで一度も会議に出席したことはない。

核兵器のない世界はいないと思うが、現時点で国に働きかけることは検討していない。これまでの平和教育を継続していく。



産廃、説明会はていねいに！



佐川町国土強靱化計画

国土強靱化地域計画 武力攻撃の項目削除を

町長 削除は難しい

ない「弾道ミサイル等の武力攻撃による事態」を入れた経過の説明を。

武力攻撃による事態は自然災害とは異質のものであり、国として平和的な外交や政治的責任で解決していくべき課題だ。いま朝鮮半島では非核化など情勢変化がある中、策定された計画からこの項目の削除を求める。

麻田総務課長 当時、北朝鮮からの弾道ミサイルなどの緊張感が高まっていたので、リスクシナリオとして設定した。

堀見町長 すべての事象のリスクを考えると、町としてできる対応はすべて計画の中に盛り込んだ。明らかに情勢の変化が認められることになれば、計画を見直すこともあるが、難しいと思う。

災害等で起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）として、県や高知市の計画の項目には

その他の質問

○教育研究所の研究テーマについて

○木造住宅耐震化事業の計画見直しについて

○木造住宅耐震化事業の計画見直しについて



森 正彦 議員

福祉アクションプラン 評価は

町長 よりよきものになっている

地域福祉アクションプランをどう評価するか。また第3次は仕組みづくりとなっている。その仕組みにどう取り組むか。堀見町長 計画を立てたものが確実に実行に移され、さらに地区ごとにア



多くの町民が参加したプランづくり

アイデアを出し、地域性を出しながらよりよきものになっていると認識している。

第3次計画には助け合い、つながり、お互いさまで助け合う、そんなあったかい福祉の分野でのチーム佐川の大きな在り方、取り組みがはめ込まれていると思う。

田村健康福祉課長 1次計画では住民組織づくり、2次計画では住民活動の拠点づくりを進めてきた。

3次計画では仕組みづくりをしていく。みんなが福祉のまちづくり委員会を中心とする地域住民、社協、行政が一体となり、地域課題の解決や支えあいの仕組みづくりを計画に沿って進めていく。その手段の一つとして生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）を配置して地域の支えあいを推進する仕組みをつくっていく。

今なぜ 食育推進なのか

町長 改めて食の大切さを伝えたい

町長は3月定例会で佐川町らしい教育として3つのしよく（食・職・植）育を大切にしたい子育て教育をしていくとしている。食育については以前から取り組んでいる。今、またなぜ食育なのか。またどう取り組むのか。

食育の推進には、子どもがつくるお弁当の日の実施が有効な手段だと聞いている。取り組んではどうか。

堀見町長 幸せな日々を送るには健康が第一で、健康な体の源は食事、食

というものがすごく大切であると思う。地元のもの、季節のもの、旬のものをありがたいうという感謝の気持ちと前向きにいい食をとろうと思う心、これが健康であり幸せな日々の一つの大きな柱だと思ふ。そこから、改めて佐川町で取り組んできた食生活改善の運動を含めて、食育をクローズアップして子どもたちや町民の皆さんに伝え、共有したいという思いで取り組む。

田村健康福祉課長 町は食育推進計画を策定している。その第2期計画は生活習慣病の予防と食育を一体的に取り組む。食のあり方を考え、共に食べることを大切にす。また収穫体験や季節の料理や伝統料理を味わうなどを基本方針として取り組んでいく。

川井教育長 子どもの弁当作りは、PTAの理解なくではできない。今後協議検討していく。



がんばっている“さくら会”の皆さん



下川 芳樹 議員

産業廃棄物処分場に関する、住民説明会を踏まえたその後の取り組み状況は。今後の説明会は加茂地区で開催することはもちろん、直接影響の大きい長竹地区では公民館

産廃その後の状況と 今後の説明会は

町長 公民館単位での説明会を調整

単位で開催するべきだと思っがどうか。
和田町民課長 県は3つの候補地で地質調査などの状況確認を7月中に完了し、先の説明会で出た質疑をQ & A的な資料で住民に配布すると聞いている。
堀見町長 長竹地区では公民館単位で説明会を開催するよう県に調整する。

佐川地区集活センター創設 町の考えは

町長 協議検討していく

町内で唯一集落活動センターや、あつたかふれあいセンターのない佐川地区でのセンター創設は、住民自治機能が低下する町中心部にも必要だ。町はどのように考えているのか。
岡崎チーム佐川推進課長 町中心部は公共的な施設が集約し、周辺部より日常生活を送る上で恵まれている。
すでに夢まちランドという拠点で住民活動をし

ている。夢まちランド協議会へのソフト的な支援を別の視点で考えていく。
堀見町長 夢まちランド協議会がどのような活動をしたいのか協議検討していく。



活気あふれる夢まちランド

ぐるぐるバス 住民意見の反映は

チーム佐川推進課長 今年10月から

ぐるぐるバスの本格運行に、昨年9月の住民意見が反映されていない。本年度はいつ意見交換会を行うのか。住民意見の反映はいつ行うのか。
岡崎チーム佐川推進課長 本年度の住民意見交換会は9月以降を予定している。昨年度の意見にあったバス路線の見直しなどは今年10月から、本年度の意見は来年10月の見直しに反映する。



うちの道にもバスが来て！（宇治谷入口）



西森 勝仁 議員

国の削減指針に反し なぜ職員を増やす

町長 採用は担当課と詰める

堀見町政になってから毎年職員数を増やし続けている。定年退職者もほぼ全員を再雇用しており、臨時職員も149人いる。

人事院の指針では、再雇用で減った業務量に応

じて、職員を削減することが基本になっているはずだ。これからは、人口も税収も交付税も減る。打ち出の小槌や埋蔵金なるものはない。しかも、職員のリストラはできない。このままでは財政がもつはずがない。もう、職員採用はするべきでないと思うが、どうか。

麻田総務課長 国からの通知は承知していないので確認する。

堀見町長 来年度の再雇用の希望者を調査中であり、新採については担当課としっかり詰める。



職員でいっぱいになった職場

どうする 防犯カメラの設置

町長 しっかり進める

昨年の12月議会で私が防犯カメラの設置を提案したところ、町長答弁

では、住民からの要望があれば設置することであった。

今年に入り、不審車両や不審人物の情報が有り警察や教育委員会でも注意を呼びかけている。

住民の不安は日増しに募り、防犯カメラの設置を望む声は高まるばかりであるが、早急に決断してはどうか。

堀見町長 防犯カメラの設置を望む声は届いている。私が指示をしてしっかり進める。

佐川駅前広場の舗装工事 どうなっている

町長 JR四国社長とも会って話す

この駅前広場を利用するのは列車に乗る町民や佐川町にお金を落としてくれる観光客である。

以前、私がこの件について質問した際、町長は現地を確認の上、JRと協議することになったが、その後どのようになっているのか。

佐川駅前広場の舗装は荒れ果て、まるで生け花用の剣山のようであり、歩くと足の裏が痛い。歴史のまち、文教のまちを公然と標榜し、観光客を誘致する佐川の表玄関とはとても言い難く恥ずかしい。

岡崎チーム佐川推進課長 駅前広場はJRの敷地となっている。JR四国には、デコボコの状態を伝えてあるが、返事はまだない。

堀見町長 この夏、高松に行くので社長にも会って話をしてくる。



デコボコの駅前広場



宮崎 知恵子 議員

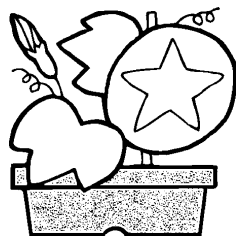
河道にヨシ等が生え茂り、出水期を迎え住民の不安の声がある。越知土木へは状況説明はした。ヨシ撤去の予算化は難しい。通学路の歩道の点検、草刈りを含めた地域支援合い事業では、予算は少

春日川の河川・歩道の整備推進を

産業建設課長 住民主体の補助事業がある

田村産業建設課長 越知土木の説明では、土砂等が堆積し河川断面を阻害すれば取り除く。河川内のヨシについては洪水時に倒伏し水害の要因にはならないため予算化できない。通学路等については、住民主体でやる県の事業がある。地元の自治会、水利組合等、活動していただけの団体が組織化されるよう町として県と連携し啓発していく。

しあるとのことだった。町の行事として、春日川一斉清掃の日を設けるとか、関係団体づくりに町として予算化も含めた取り組みを推進してはどうか。



Jアラート 住民に周知を

総務課長 広報で周知



春日川もヨシでいっぱい！

Jアラートの内容について、住民に周知してもらいたい。
麻田総務課長 Jアラートとは全国瞬時警報システム略で、緊急地震速報や弾道ミサイル情報、津波警報など、対処に時間的余裕のない緊急かつ重要な警報情報を携帯電話等に配信通報メール、町行政防災無線により、国から直接住民に瞬時に伝達するものだ。住民には広報さかわで周知していく。

道徳教育の充実を

教育長 充実に努める

道徳教育の充実は必要である。いじめといじめによる不登校対策としても重要である。学校内ではいじめでも、一步外に出れば犯罪なんだと指導していただきたい。また、愛国心も必要であると思うがどうか。

川井教育長 道徳教育については、充実に努めている。道徳教育を進める中で、いじめ対策等々、子どもの心の問題も含めてしっかり指導していく。堀見町長 道徳教育の中で、愛国心を育む教育をするのがいいかどうかはわからない。
ただ佐川町では、ふるさと教育を通し佐川を愛する心、誇りに思える心を醸成していく。

その他の質問
○マイナンバー制度について



危険を知らせるJアラート

町長は「佐川町を世界一幸せな町にする」との思いがあるが、副町長として、その思いはどうか。また自分の役割は何だと思っか。

副町長の役割は何か

副町長 経済を中心に

中村 卓司 議員



中澤副町長 仕事の立ち位置、役割は総合計画を基本に着実に一つ一つ実行していくことが私の役割だと認識、自覚している。今の佐川町に至る経過、歴史は承知してないが、町民の皆さんのご指導で努力したい。ただ、町長には私のキヤリアから経済の部分を中心に見てほしいの話がある。そちらを重点に思っている。



変わるか!? 佐川の経済

産廃施設 経済的施策は

町長 現時点では考えてない

産業廃棄物最終処分場の設置で、経済的措置（施策）を条件として町は受け入れを考えているのか。
堀見町長 加茂が最終的に選ばれてない現時点では答えられない。選ばれたとき考える。

あったかふれあいセンター 佐川地区は

町長 三者で協議する

町内にはあったかふれあいセンターが4カ所あるが、佐川地区にはない。しかし、夢まちランドがその位置にある。今後、夢まちランドの内容を充実すべきと考えるが、町はどう考えるか。
田村健康福祉課長 あったかふれあい事業は、さまざまな必須機能があるので、開所にあたっては十分話し合いをする。

夢まちランドの定例会が2カ月に1回開催されている。その中で、現状の把握と意向の確認をさせてもらう。町と社協と夢まちランド協議会の三者で意見交換を実施していく。どの団体が受託者として望ましいかを協議していく。
堀見町長 三者で話し合いを持ち、方向性を見出していききたい。

その他の質問
○観光協会の役割としたい
○防災にドローンを取り入れることについて



産廃効果？

国道494号

佐川・吾桑バイパス

現地調査報告



開通が待たれる新国道494号

平成30年6月13日に、国道494号の佐川・吾桑バイパスの現地調査を議員全員で実施した。本路線は国道33号と56号を結び、四国横断自動車道須崎東インターチェンジや重要港湾・須崎港にアクセスする重要な路線だ。整備により高知県の中西部域、西瀬戸自動車

円、延長5・93km（佐川町管内2・63km）事業の完成は、平成30年代半ばを目標にしているとのことであった。

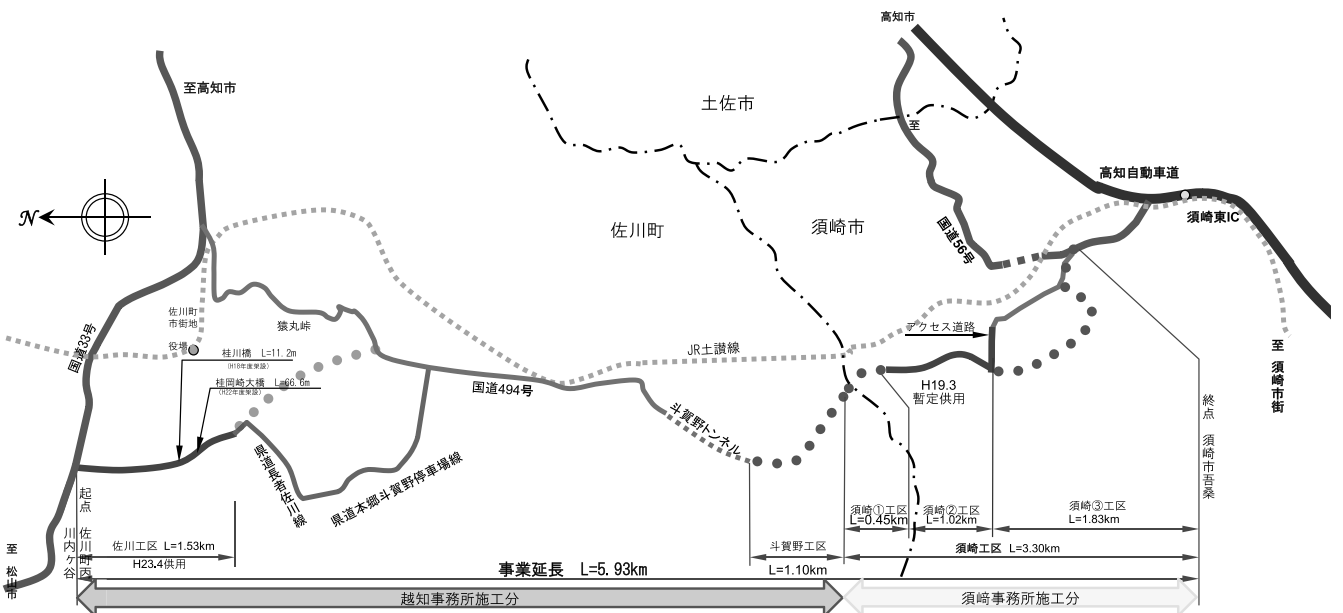
佐川町管内の佐川工区

（国道33号から県道長者佐川線延長1・53km）

は、平成23年度に既に供用開始している。斗賀野工区（斗賀野トンネル須崎市側から市町境）は平成24年度から延長1・1kmの工事を行っている。

須崎市管内の延長3・3kmについては、事業費137億円で工事を進めている。佐川・吾桑バイパス全体での現在の事業進捗率は約70%となっている。

この路線に関しては、沿線市町で期成同盟会を結成するとともに、議会内に特別委員会も設置しており、以前から早期完成を目指し要望活動を行ってきた。完成までこの活動を継続していくことが重要であると考ええる。



意見書

国にももの申す

国関係機関に意見書を提出

日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書

義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書

「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書

特別支援学校の設置基準の策定、及び特別支援学校の学級編制標準の改善を求める意見書

全国一律の最低賃金制度の確立と最低賃金の大幅引き上げによる地域活性化そして、それを可能にする中小企業支援策拡充を求める意見書

《 住民の中へ・・・地区別に議会懇談会を開催 》



懇談会の様子

議会懇談会報告

5月8日から23日の間に、町内の5地区で議会懇談会を開催しました。

議会からは平成30年度当初予算の概要や、定例会等の内容について説明をし、住民からは議会や交通、産業など幅広い意見や要望が寄せられました。問題別に内容を整理して報告します。

議会

◎定数、報酬についての検討会 いつまでにどういう方法でやるか。若い方が議員をできる形を考えてはどうか。

3月に議員定数及び議員報酬に関する調査特別委員会を立ち上げ、これらを検討していく。

◎懇談会での意見を執行部に提案し、どれだけ採用されたか。

懇談会後、議員全員で意見を分類し、それぞれの機関へつなげている。議会、行政それぞれの対応があり、詳しくは広報でお知らせしている。

◎予算で県外業者への委託や基金の取り崩しがある。事業の中身を精査し、町民の納得できる予算編成をすべきだ。

議員からの指摘もある。予算執行の際は、議長に説明することである。

◎議員研修として、ヨーロッパやアメリカの農業研修を行っているかどうか。全国的にも、海外研修は少なくなっている。予定はない。

◎議員勉強会の傍聴を。議員対象の任意の会であり、傍聴は認めていない。

◎議員研修の内容は。議会だよりで概要を報告している。

交通

◎くるくるバス 宇治谷へのコースを。路線変更は地域の意見を聞き改善するとの執行部の考え。

◎国道494号の改良区域を広報で知らせてほしい。

関係機関に伝える。

産業

◎産廃処分場関係の施設の安全性の確保、住民意見を出す場づくり、住民意見の尊重を。議員は情報収集して

個々に判断する。希望は県、町に伝える。

◎道の駅の現在の状況は。2カ所の設置場所を検討委員会を選定し、町で検討中。

◎休耕田への対策はないか。集落営農で地域を守る手段が全国的な動きとしてある。

災害

◎尾川地区河川のヨシの除去を。県、町に伝える。

その他

◎カーブミラー設置工事に町の支援を。町に伝える。

◎公営住宅での動物の飼育、規則に沿った対応を。町に伝える。

◎公営住宅の空き室（空き家）に早期入居を。町に伝える。

◎副町長人事 地元で人選できなかったのか。県への人脈、パイプを期待しての人選である。

◎不審者情報あり、学校周辺に防犯カメラの設置を。町へ対策を進言する。

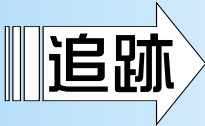
◎地域担当職員制度を町長はどっと思っているか。町の総合計画で平成31年度までに進めることが示されている。

◎給食費の滞納は。現年分の収納率は100%である。

◎佐川地区にあつたかふれあいセンターを作ってほしい。執行部、議会、社協と今後話をしていく。

◎消防団にもっと補助金を。町に伝える。

◎JRのダイヤ改正で利便性の向上を。意見が出たことを伝える。



あれはどうなったが？



改修が待たれるあおぞら公園トイレ

あおぞら公園トイレの改修

(平成28年6月定例会)

あおぞら公園内のトイレは、多くの方が利用されている。また、災害時に活用されることも想定される。早期の改修を。

(坂本議員)

関連質問

(森議員)

産業建設課長 答

あの質問のゆくえ

No.46

平成30年度当初予算 設計委託・工事費計上

平成30年度当初予算に設計委託・工事費が計上されており、合併処理浄化槽に改修される。

どう
なった

今後検討する

環境に配慮した循環型の水洗トイレとして設置したが、機能の維持が難しく住民の方に大変迷惑をかけている。修繕を行いながら、今後検討する。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月7日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長	下川 芳樹
副委員長	西森 勝仁
委員	坂本 玲子
委員	宮崎知恵子
委員	橋元 陽一

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

宮崎知恵子

私の好きな言葉。
「最高の芸術は欠点を見ないのである。あなたも人生の芸術家となれ」

議会ペーパーレス化、タブレット導入の視察が予定されておりましたが、豪雨のため延期となりました。私もパソコンの勉強をしたいと思っています。
AI(人工知能)は、これからの社会において重要な役割を果たしますが、自分で創造したり、感動したりはできません。AIを使うのは人間です。佐川町は、みんなが光り輝く人になるために、優しさ、思いやり、助け合いのできるまちづくりをしています。私もそのお手伝いをしたいと思います。

編集後記

地域で がんばる

佐川高校

いのち輝け

さくら咲くプロジェクト

佐川高校では、総合的な学習の時間で「さくら咲くプロジェクト」がスタートし4年目を迎えています。今回は、「さくら咲くプロジェクト」について2人の生徒と担当の先生にお話を伺いました。



インタビューに応じてくれた皆さん
柳井先生 谷村校長 野村教頭
片岡桃那さん 藤田征也くん

地域を見つめ、地域の方々の生き方に触れる体験学習を通して、10年、20年後に故郷に戻り、地域の活性化の一翼を担える人になってもらいたい。また活動を通じて、自ら課題を見つけ解決する力を獲得する目的で始めました。



かわいい地乳プリン包装

—先生に聞きました
さくら咲くプロジェクト
って何ですか。

—成果はどうですか。

成果はすぐには見えませんが、自分の考えをきちんと伝えるようになったと思います。

また、生徒たちが提案した標語やスイーツ、コースター、地乳プリンの包装紙が商品化されています。



商品化されたコースター

—生徒に聞きました
活動をしていた感じ
ことは何ですか。

グループで意見が対立し活動が進まないときは大変です。自分の思っていることを相手にどう伝えるかが大切だとわかりました。

—地域に出ていって感じたことは何ですか。

自分の住んでいる地域に知らないことがたくさんあることが分かりました。またこの地域にはすごいところがいっぱいあると知りました。



成果を発表！

今年は9つのグループでさまざまな課題に対して取り組み中です。皆さんの提言を楽しみにしています。頑張ってください。

あなたの周りで、佐川町の元氣のために頑張っている「組織やグループ」をぜひご紹介ください。



テーマ別にグループ討議中